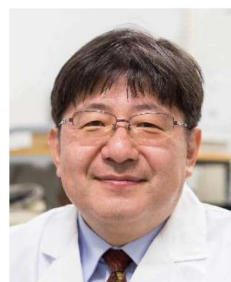


静岡大学附属図書館概要

2023

はじめに

附属図書館長
河合 真吾



附属図書館は、静岡本館と浜松分館の2館体制で、静岡大学両キャンパスの教育と研究を支えております。「Tolle lege（手にとって読みなさい）」の精神のもと、学術情報資源整備、学習支援、研究支援、社会連携に務めることをその使命としております。この目標を達成するために、様々な事業を展開しておりますが、この『静岡大学附属図書館概要2023』は、その事業内容と附属図書館の現状をわかりやすくまとめたものです。

世界中を困難に陥れている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で、ここ数年間、館内の閲覧室や施設の利用に関してはご不便をおかけしておりましたが、現在では通常に近い形で制限を解除し、入館者数も緩やかではありますが回復傾向にあります。また、学長裁量経費により令和3年度から継続して電子ブックの充実が図られ、様々な分野の書籍へのアクセスが可能になっております。さらに、令和4年度、20年ぶりに図書館業務電子計算機システムの業者変更による更新があり、OPACやmyLibraryのデザインが一新されました。ぜひこれら電子情報も合わせてご活用ください。今後も、利用者への周知・広報方法を工夫するとともに、その動向を把握しつつ、既存施設の機能向上を目指してまいります。

さて、10年以上にわたって附属図書館が抱える電子リソースの問題ですが、近年の円安傾向とリソースそのものの価格上昇でさらに深刻な影響を受けております。継続に向けた有効な解決法を模索しているところです。

静岡大学では、令和5年度グローバル共創科学部と山岳流域研究院（修士課程）を設置しました。静岡大学附属図書館は、このような新しい学部・大学院もしっかりと支援してまいります。今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 主要室面積及び座席数

階 数		室 名	面 積	座席数	備 考
本 館	1 階 1,380㎡	書庫 その他	1,054 ㎡ 326	2 席	一部集密書架
	2 階 1,305㎡	書庫 その他	1,192 113	3	
	3 階 1,495㎡	書庫 雑誌閲覧室 個人ブース 印刷室等 その他	839 334 24 57 241	6 28 6	開架雑誌
	4 階 1,533㎡	開架閲覧室 ラウンジ 複写室 サービスカウンタ ギャラリー 館長室 事務室 その他	546 103 13 84 44 49 382 312	128 30 20	参考図書、新聞コーナー、ＰＣワークエリ ア、視聴覚エリア、国際交流エリア
	5 階 1,503㎡	開架閲覧室 ハーベストルーム（第2閲覧室） 地域・特別資料室 マイクロ資料室 その他	821 244 95 30 313	202 74 1 1	開架図書
	6 階 563㎡	図書館会議室 セミナールーム その他	119 125 319	50	
	7 階 248㎡	書類庫等 その他	43 205		
	本館合計		8,027 ㎡	551 席	書架延長 27,130m 収容可能冊数 753,625冊

浜 松 分 館	1階 1,759㎡	エントランス・ラウンジ	164	38 席	集密書架
		ギャラリー	54		
		図書館事務室	107		
		分館長室	18		
		書庫	258		開架図書、文庫・新書
		新聞コーナー・新着雑誌コーナー	128		
		P Cワークエリア	191		
		開架図書閲覧室	453		
	その他	386			
	2階 2,461㎡	グループワークエリア	958	214	Development Base（パーソナルワークエ リア）、地域産業史エリア、多文化交流エ リア、視聴覚エリア
		セミナールーム・CALL教室	145	52	集密書架
		書庫	354		
		グループ学習室	61	24	
学習エリア		267	47	参考図書、大型本	
開架図書閲覧室		464	40	開架図書	
その他		212			
3階 511㎡	交流サロン	83	2	開架雑誌	
	開架雑誌閲覧室・個人ブース	304	29		
	その他	124			
浜松分館 合 計		4,731 ㎡	530 席	書架延長 収容可能冊数	12,709m 353,027冊

合 計	12,758 m ²	1,081 席	書架延長 39,839m 收容可能冊數 1,106,652冊
-----	-----------------------	---------	-----------------------------------

● 電子資料等

○ 主な電子ジャーナル

- Science Direct(エルゼビア社)※フリーダムコレクション契約
利用タイトル数 約2,300 (バックファイルは概ね1998年から利用可能)
- Wiley Online Library (ワイリー社)
利用タイトル数 約1,400 (バックファイルは概ね1997年から利用可能)
- Springer Link (シュプリンガー・ネイチャー社)
利用タイトル数 約1,700 (バックファイル契約誌は創刊号から、その他は2000年から利用可能)
- American Chemical Society Full Package (アメリカ化学会)
利用タイトル数 約60
- nature (本誌は1987年から、Nature Digestは2007年から利用可能)
- Science 1880年～
- JSTOR (人文科学、社会科学系学術雑誌のアーカイブ(約3,000誌)及び一次資料コレクション)

○ 主な電子ブック * 購入タイトル数は令和5年3月31日現在

- Cambridge Core (購入タイトル数 156)
- EBSCO eBooks (購入タイトル数 150、著作権フリー約3,500)
- emerald insight (Business Management & Economicsの全タイトル(1991-2012)(購入タイトル数 708)
- Infobase Publishing eBooks (購入タイトル数 246)
- KinoDen(紀伊國屋書店)(購入タイトル数 1,449)
- Maruzen eBook Library(丸善雄松堂)(購入タイトル数 2,452)
- ProQuest Ebook Central (購入タイトル数 45)
- Science Direct Methods in Enzymology (2009-2013年 224点)ほか(購入タイトル数 313)
- Springer Link eBooks (購入タイトル数 9,300以上)
- Saddleback (購入タイトル数 70)
- Wiley Online Library (購入タイトル数 37)

○ 主なデータベース

- CiNii (論文や図書・雑誌などの学術情報検索データベース)
- MathSciNet (数学関係文献データベース)
- CAS SciFinder-nほか (化学関係文献データベース)
- PsycINFO (心理学関係文献データベース)
- Lexis (国外法律情報文献データベース)
- LEX/DBほか (国内判例関係文献データベース)
- 朝日新聞クロスサーチ (朝日新聞記事データベース)
- 静岡新聞データベースplus 日経テレコン (静岡新聞及び日本経済新聞記事データベース)
- 中日新聞・東京新聞記事データベース <浜松キャンパスのみ>
- 官報情報検索サービス (官報の電子版)
- JapanKnowledge Lib (「日本大百科全書」などの事典・辞書横断検索データベース)
- 化学書資料館 (日本化学会編集の図書全文検索および化合物検索データベース)
- JSA ライブラリサーバ (JISの電子版) <浜松キャンパスのみ>

● 学術リポジトリ

1. 資源タイプ別コンテンツ数

(令和5年3月31日現在)

区分	計	前年度末計
Journal Article (学術雑誌論文)	3,353	3,151
Thesis or Dissertation (学位論文)	874	826
Departmental Bulletin Paper (紀要論文)	7,039	6,759
Conference Paper (会議発表論文)	514	372
Presentation (会議発表用資料)	21	21
Book (図書)	82	77
Technical Report (テクニカルレポート)	313	313
Research Paper (研究報告書)	1,611	1,491
Article (一般雑誌記事)	40	35
Preprint (プレプリント)	1	1
Learning Material (教材)	23	22
Data or Dataset (データ・データベース)	6	6
Software (ソフトウェア)	0	0
Others (その他)	716	654
合 計	14,593	13,728

● 資料統計

1. 受入数

令和4年度（令和5年3月31日現在）

区 分	図 書				雑 誌			
	和 書	洋 書	計	前年度計	和 雑 誌	洋 雑 誌	計	前年度計
本 館	5,583	412	5,995	6,972	930	104	1,034	1,116
浜松分館	2,283	93	2,376	2,982	204	21	225	236
合 計	7,866	505	8,371	9,954	1,134	125	1,259	1,352

2. 蔵書数

令和4年度（令和5年3月31日現在）

区 分	図 書				雑 誌			
	和 書	洋 書	計	前年度計	和 雑 誌	洋 雑 誌	計	前年度計
本 館	642,750	243,213	885,963	896,022	11,647	4,637	16,284	16,270
浜松分館	209,151	99,380	308,531	306,725	2,493	2,002	4,495	4,486
合 計	851,901	342,593	1,194,494	1,202,747	14,140	6,639	20,779	20,756

3. 視聴覚資料数

令和4年度（令和5年3月31日現在）

区 分	マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	ビデオテープ	CD-ROM	CD/LD	DVD	その他	計	前年度計
本 館	3,601	164	157	123	405	1058	147	5,655	6,092
浜松分館	1	0	4	8	22	407	23	465	454
合 計	3,602	164	161	131	427	1,465	170	6,120	6,546

4. 分類別蔵書冊数

令和4年度（令和5年3月31日現在）

区 分	本 館			浜 松 分 館			合 計	前年度計
	和 書	洋 書	計	和 書	洋 書	計		
0 総 記	54,495	7,504	61,999	17,437	4,387	21,824	83,823	85,324
1 哲 学	34,375	19,381	53,756	10,926	1,130	12,056	65,812	66,331
2 歴 史	82,751	12,425	95,176	9,153	617	9,770	104,946	105,632
3 社会科学	204,784	71,773	276,557	29,967	930	30,897	307,454	309,475
4 自然科学	74,563	58,526	133,089	52,767	52,829	105,596	238,685	238,962
5 技 術	33,266	5,043	38,309	57,453	31,097	88,550	126,859	127,015
6 産 業	41,007	7,940	48,947	3,123	161	3,284	52,231	52,575
7 芸 術	27,953	4,468	32,421	6,705	441	7,146	39,567	39,980
8 語 学	24,761	15,081	39,842	9,775	3,954	13,729	53,571	53,725
9 文 学	64,795	41,072	105,867	11,845	3,834	15,679	121,546	123,728
合 計	642,750	243,213	885,963	209,151	99,380	308,531	1,194,494	1,202,747

5. 図書館経費（令和4年度）

◇図書館運営関係経費	76,573千円	（臨時経費含む）
◇図書館資料関係経費	33,428千円	（臨時経費含む）
◇電子ジャーナル等経費	137,719千円	

● 利用統計

1. 開館日数等

(令和4年度)

(単位:日)

(単位:時間)

区 分	年 間 開 館 日 数			年間時間外開館時間数		
	平 日	土/日・祝	総日数	平 日	土/日・祝	総時間数
本 館	233	48	281	504	391	895
浜松分館	233	48	281	507	391	898

2. 入館者数

※平成29年度は、浜松分館改築工事（Ⅱ期）による閉館等の影響有り

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
■ 本 館	210,775	194,627	185,439	53,821	83,105	110,363
■ 浜 松 分 館	177,194	209,482	236,110	60,662	105,087	136,092
合 計	387,969	404,109	421,549	114,483	188,192	246,455

3. 館外貸出冊数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教 員 ■ 本 館	6,614	6,412	6,582	5,658	6,775	7,893
■ 浜松分館	1,207	1,760	2,043	1,952	1,978	1,806
学 生 ■ 本 館	48,337	44,388	42,054	31,592	35,179	43,294
■ 浜松分館	20,819	25,249	27,022	18,161	20,106	20,704
一般 ■ 本 館	1,077	994	860	14	0	49
市民 ■ 浜松分館	530	689	909	2	0	10
本 館 計	56,028	51,794	49,496	37,264	41,954	51,236
分 館 計	22,556	27,698	29,974	20,115	22,084	22,520
総 計	78,584	79,492	79,470	57,379	64,038	73,756

4. ILL（図書館間相互協力）文献複写件数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受 託 ■ 本 館	1,340	1,308	1,242	1,239	1,562	724
■ 浜松分館	446	380	274	208	364	201
受 託 計	1,786	1,688	1,516	1,447	1,926	925
依 頼 ■ 本 館	1,514	1,264	1,106	1,015	1,029	922
■ 浜松分館	404	229	286	337	273	176
依 頼 計	1,918	1,493	1,392	1,352	1,302	1,098

5. ILL（図書館間相互協力）現物貸借冊数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
貸 出 ■ 本 館	1,092	890	935	1,038	1,192	985
■ 浜松分館	183	165	178	243	250	185
貸 出 計	1,275	1,055	1,113	1,281	1,442	1,170
借 受 ■ 本 館	665	766	453	512	617	501
■ 浜松分館	63	67	118	104	86	91
借 受 計	728	833	571	616	703	592

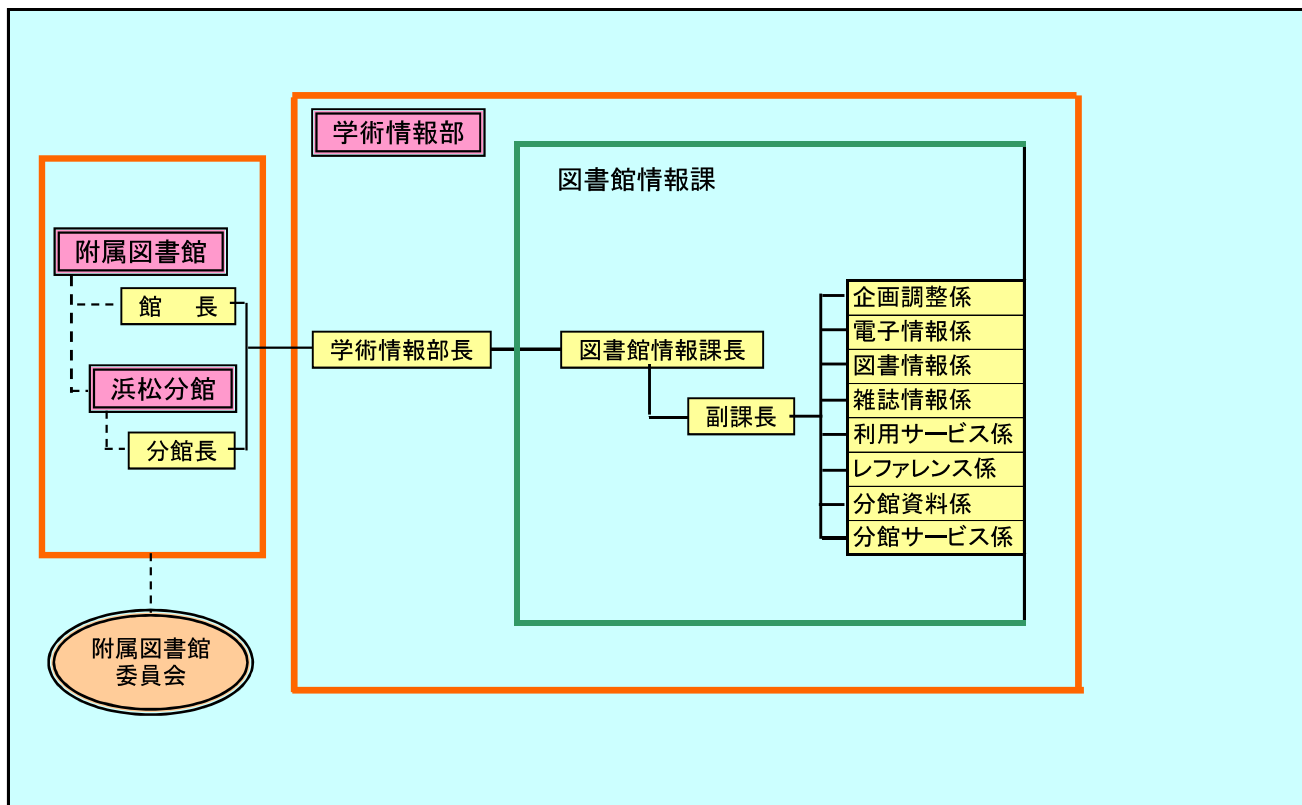
6. セミナー参加人数

※・・・在宅授業による実施

		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
本 館	図書館利用セミナー（ベーシック編）	36	1,209	34	1,189	※	1,120	※	1,159	※	1,155
	図書館利用セミナー（アドバンス編）	28	646	24	624	※	713	※	597	※	592
	図書館利用セミナー・大学院生向け	2	31	6	49	-	-	2	39	2	42
	図書館利用セミナー（後学期）	5	186	4	151	8	164	8	158	4	151
	データベース講習会	6	169	7	105	4	61	4	81	1	49
本館・浜松分館	データベース講習会（本分館共同開催）	-	-	-	-	-	-	-	-	4	静岡51 浜松20 ZOOM参加75
浜松分館	図書館利用セミナー（ベーシック編）	27	793	20	803	※	770	※	769	※	771
	図書館利用セミナー（アドバンス編）	1	7	7	92	※	71	※	113	※	124
	データベース講習会	5	77	4	132	-	-	-	-	-	-

● 組 織 機 構

1. 機構図・職員配置 ☆令和5年6月1日現在



2. 附属図書館委員会委員 ☆令和5年度

所 属	職 名	氏 名	備 考
館 長 (農 学 部)	教 授	河 合 真 吾	委員長
浜 松 分 館 長 (工 学 部)	教 授	大 岩 孝 彰	
人 文 社 会 科 学 部	教 授	安 永 愛	
〃	教 授	永 田 守 男	
教 育 学 部	准 教 授	島 田 桂 吾	
〃	准 教 授	佐 藤 正 志	
情 報 学 部	教 授	SHEFTALL, M. G	
〃	教 授	宮 崎 真	
理 学 部	准 教 授	依 岡 輝 幸	
〃	教 授	岡 林 利 明	
工 学 部	教 授	藤 間 信 久	情報基盤センター運営委員会委員
農 学 部	教 授	大 西 利 幸	
〃	教 授	木 村 洋 子	
グ ローバル 共 創 科 学 部	准 教 授	青 木 憲 治	
教 職 セ ン タ ー	准 教 授	松 尾 由 希 子	
事 務 局	学術情報部長	成 田 博	

沿革

1. 略年史

年 月	事 項
1949(昭24) 6	◇静岡大学創立（文理・教育・工学の3学部）
11	◇図書館規則を制定し、中央図書館は当分の間文学部に置き、各学部・分校の図書室は分室とし、図書館運営の協議連絡機関として新たに図書館委員会を設置
12	◇文学部図書館長が中央図書館長併任（中央図書館職員は事務長1、係員2）
1951(昭26) 4	◇県立農科大学が農学部（磐田）となり、図書館分室を設ける ◇同上分室建築工事竣工
1952(昭27) 4	◇教育学部三島教場の図書館分室を廃止し、教育学部（静岡）分室に統合
1955(昭30) 4	◇教育学部島田分校の図書館分室を廃止し、教育学部（静岡）分室に統合
1958(昭33) 12	◇中央図書館長選考規則を制定
1959(昭34) 9	◇中央図書館・分室を合わせて、附属図書館と改称 工・農・教育学部浜松分校に各分館を設置 事務機構は事務長1、係長3、係員7となる
1965(昭40) 3	◇教育学部浜松分校分館を廃止 ◇教養部西部教場（浜松）に教養部西部分室を設置 ◇附属図書館長が評議会の構成員となる
1966(昭41) 4	◇工学部分館を浜松分館と改称
10	◇附属図書館で教養課程指定図書制度を実施
1967(昭42) 4	◇教養部の大谷地区移転に伴い、臨時図書室（約5,000冊）開設
1968(昭43) 3	◇大谷地区に附属図書館の新館（RC-5 4,535㎡）が竣工
4	◇教養部西部分室を廃止し、本館に統合
9	◇附属図書館大谷地区に移転
1970(昭45) 1	◇附属図書館の広報誌「図書館通信」を創刊
1972(昭47) 3	◇浜松分館の新館（RC-2 1,471㎡）が竣工
1973(昭48) 4	◇農学部の大谷地区移転に伴い、農学部分館を廃止し、本館に統合 ◇参考調査係を設置し、4係となる
1977(昭52) 4	◇部課制を実施するとともに受入係を設置、2課5係となる
1978(昭53) 3	◇本館増築（RC-7 3,061㎡）竣工
1979(昭54) 11	◇本館の時間外延長開館（月～金 20:45、土 16:45まで）を実施
1980(昭55) 4	◇大谷地区各部局の自然系外国雑誌（149タイトル）本館に集中
1982(昭57) 3	◇本館にブックディテクションシステム装置導入
1983(昭58) 3	◇浜松分館増築（RC-2 1,035㎡）竣工
6	◇浜松分館の時間外延長開館（月～金 20:00、土 17:00まで）を実施 ◇浜松地区自然系外国雑誌（279タイトル）分館に集中
1984(昭59) 1	◇整理課に図書館専門員を配置
3	◇本館の耐震補強工事竣工 ◇本館書庫増築（669㎡）竣工
1986(昭61) 11	◇図書館業務用電子計算機（HITAC L470Xシステム）導入
1987(昭62) 6	◇図書館業務の電算化に対応するため、事務組織を変更 整理課受入係・整理係を廃止して和書係・洋書係とし、新たに学術情報係を設置、2課6係となる
1988(昭63) 4	◇「国立大学および国立短期大学の事務局等の部及び課に関する訓令」の一部改正に伴い、事務部の名称変更
6	◇利用者用コンピュータ端末による図書検索開始（開架全図書及び4月以降の新規受入図書）
1990(平 2) 3	◇本館視聴覚コーナー（4階）を開設
5	◇情報処理センターとの協力により、学内LANを利用したオンライン学内図書検索システム開始
10	◇本館外国雑誌閲覧室（3階）に無人入退館管理システムを設置、24時間利用可能となる
1991(平 3) 3	◇本館空調設備工事施工（5階）
4	◇静岡県公共図書館等の資料相互貸借に関する協定に加盟
1992(平 4) 1	◇本館空調設備工事施工（3、4階）
5	◇完全週休2日制実施に伴う土曜半日（午前）開館
1995(平 7) 5	◇附属図書館のホームページを開設
1996(平 8) 3	◇本館地方資料室を移転し、第2閲覧室に模様替
4	◇本館及び浜松分館土曜全日開館実施
10	◇創立50周年記念誌編集室開設（1999年迄）
1997(平 9) 10	◇本館視聴覚室を改修し、SCSスタジオ開設
11	◇静岡県大学図書館協議会設立、加盟 ◇「幕末・明治期古写真等資料展」開催
1998(平10) 3	◇CD-ROMサーバ導入 ◇浜松分館にブックディテクションシステム装置導入
7	◇本館第2閲覧室（ハーベストルーム）にパソコン18台を設置
10	◇事務再編に伴い、事務組織を変更 和書係・洋書係を廃止して資料受入係・目録情報係とし、情報管理課学術情報係をシステム管理係と改称して 情報サービス課に所属

年 月	事 項
1999(平11)	1 ◇本館書庫入庫時間延長 ◇「幕末・明治期肖像写真展」開催 3 ◇浜松分館AVルーム開設 5 ◇博士学位論文要旨のホームページ公開 9 ◇国際放送視聴コーナー開設 11 ◇「写真展 躍動する静岡大学の50年」開催
2000(平12)	4 ◇本館開館時間変更（月～金 9:00～22:00, 土 11:00～19:00）（試行） ◇浜松分館自動貸出返却装置導入 ◇本館新入生セミナーで「附属図書館利用セミナー」実施（試行）
2001(平13)	3 ◇本館自動貸出返却装置導入 4 ◇本館開館時間変更（月～金 9:00～22:00, 土 11:00～19:00） ◇浜松分館開館時間変更（月～金 9:00～21:00, 土 9:00～17:00）（試行） ◇本館・浜松分館新入生セミナーで「附属図書館利用セミナー」実施（試行） 10 ◇利用学生モニターの設置 11 ◇図書館総合整備計画（第一次）－「知と情報のコーディネーター」へ向けての策定
2002(平14)	2 ◇図書館業務用システム（NTTデータ NALIS）導入 3 ◇大学閲覧室の閲覧机・椅子の更新および閲覧室床カーベットの張替え等学習環境の整備 4 ◇図書館利用セミナーの実施（必修科目として正規の単元化） 10 ◇日曜・祝日開館及び土曜時間延長の本格実施
2003(平15)	2 ◇本館正面玄関の改修 4 ◇学外者への館外貸出サービスを開始 ◇浜松分館平日夜間開館時間を1時間延長
2004(平16)	4 ◇法人化に伴い、附属図書館事務局は新設の学術情報部として統合 図書館関係2課（情報管理課・情報サービス課）の組織内変更はなし
2005(平17)	1 ◇OBオフィス開設 6 ◇公開イベント「のぞいてみよう大学の図書館」開催 10 ◇課・係制からチーム・スタッフ制へ移行 図書館情報チームとなり、3スタッフ（図書館マネジメントスタッフ、学術資料スタッフ、利用サービススタッフ）で構成
2006(平18)	4 ◇図書館情報チームの改組 研究協力・情報図書チームとなり、2課長から1課長2副課長となる ◇静岡県立中央図書館との資料相互搬送開始 6 ◇おうだんくん（県内横断検索システム）へ参加
2007(平19)	2 ◇図書館業務用システム更新 3 ◇自動貸出装置増設 8 ◇地域目録講習会（図書コース）開催 9 ◇本館第2閲覧室（ハーベストルーム）拡張 ◇「静大図書館 NewsLetter」創刊 11 ◇写真展「写真でつづる静岡大学の軌跡」開催
2008(平20)	4 ◇静岡大学学術リポジトリ（SURE）本公開 ◇事務再編に伴い、チーム名変更（研究協力・情報図書チームから図書館チームへ） 8 ◇附属図書館外部評価委員会開催
2009(平21)	3 ◇浜松分館旧機械室に電動書架設置 4 ◇入退館管理システム導入 6 ◇ライブラリーセミナー「蘇る安部七騎」開催
2010(平22)	4 ◇本館リニューアルオープン
2011(平23)	7 ◇事務再編に伴い、チーム・スタッフ制から課・係制へ移行 図書館情報課となり、8係（企画調整係、電子情報係、図書情報係、雑誌情報係、利用サービス係、レファレンス係、分館資料係、分館サービス係）となる ◇浜松分館改修工事竣工
2012(平24)	2 ◇図書館業務用システム（NTTデータ九州 NALIS）更新 4 ◇本館・浜松分館開館時間の変更（休日の試験対応期間9:00～21:00）（試行） 6 ◇学習支援促進のための三大学連携事業に関する協定を締結（金沢大学、静岡大学、名古屋大学）
2013(平25)	3 ◇本館外壁改修工事竣工 4 ◇静大ID(学認対応)によるサービス開始(学外からの電子ジャーナル利用、myLibrary) 5 ◇附属図書館外部評価委員会開催
2014(平26)	8 ◇地域連携プロジェクト「キッズチャレンジ静大図書館」を開催（12月にも開催） 10 ◇浜松分館リニューアルオープン（Ⅰ期） 12 ◇「静岡大学附属図書館の使命」策定
2015(平27)	8 ◇地域目録講習会（図書コース）開催
2017(平29)	2 ◇図書館業務用システム（NTTデータ九州 NALIS）更新
2018(平30)	1 ◇静岡大学学術リポジトリ（SURE）を国立情報学研究所共用リポジトリサービス（JAIRO Cloud）に移行
2018(平30)	6 ◇浜松分館リニューアルオープン（Ⅱ期）
2019(令和)	5 ◇附属図書館外部評価委員会開催
2020(令和)	2 3 ◇新型コロナウイルス感染症への対応のため、施設・サービスを制限（～2022（令和4）6.現在も状況に応じて対応中）
2020(令和)	2 4 ◇4.20～5.6は静岡本館、浜松分館とも臨時休館

年 月	事 項
2022(令 4) 4	◇入退館管理システム更新
12	◇図書館業務用システム（リコージャパンLIMEDIO）更新
2023(令 5) 3	◇本館1階集密書架リニューアル

2. 歴代館長・分館長

附属図書館長	氏名	所属	在任期間
	富田文雄	文理学部	1949.12.12 ~ 1952.12.11
	大室貞一郎	"	1952.12.12 ~ 1954.12.11
	河内清	"	1954.12.12 ~ 1958.12.11
	山田良之助	学長（事務取扱）	1958.12.12 ~ 1959. 8.31
	山岸五平	教育学部	1959. 9. 1 ~ 1961. 8.31
	島谷俊三	"	1961. 9. 1 ~ 1963. 8.31
	宇野慶三郎	教養部	1963. 9. 1 ~ 1965. 6.30
	内藤晃	人文学部	1965. 7. 1 ~ 1967. 6.30
	兼岩芳夫	農学部	1967. 7. 1 ~ 1969. 6.30
	天野佳人	人文学部	1969. 7. 1 ~ 1971. 6.30
	石塚経雄	教養部	1971. 7. 1 ~ 1973. 6.30
	上野実朗	理学部	1973. 7. 1 ~ 1975. 6.30
	中沢正寿	教育学部	1975. 7. 1 ~ 1977. 6.30
	渡辺安夫	教養部	1977. 7. 1 ~ 1979. 6.30
	豊川卓爾	人文学部	1979. 7. 1 ~ 1981. 6.30
	細井寅三郎	農学部	1981. 7. 1 ~ 1983. 6.30
	大月卓郎	工学部	1983. 7. 1 ~ 1985. 6.30
	中村博保	教育学部	1985. 7. 1 ~ 1987. 6.30
	森口治生	理学部	1987. 7. 1 ~ 1989. 6.30
	水野秀夫	農学部	1989. 7. 1 ~ 1991. 6.30
	吉本健一	教養部	1991. 7. 1 ~ 1993. 6.30
	小澤康彦	人文学部	1993. 7. 1 ~ 1995. 6.30
	久保靖一	工学部	1995. 7. 1 ~ 1997. 6.30
	杉田泰一	教育学部	1997. 7. 1 ~ 1999. 6.30
	浅井哲也	理学部	1999. 7. 1 ~ 2001. 3.31
	大江泰一郎	人文学部	2001. 4. 1 ~ 2003. 3.31
	番場公雄	農学部	2003. 4. 1 ~ 2005. 3.31
	小和田哲男	教育学部	2005. 4. 1 ~ 2007. 3.31
	加藤憲二	理学部	2007. 4. 1 ~ 2013. 3.31
	高松良幸	情報学研究科	2013. 4. 1 ~ 2015. 3.31
	澤田均吉	農学領域	2015. 4. 1 ~ 2021. 3.31
	坂本健吉	理学領域	2021. 4. 1 ~ 2023. 3.31
	河合真吾	農学領域	2023. 4. 1 ~

浜松分館長	氏名	所属	在任期間
	市川常男	工学部	1965. 4. 1 ~ 1976. 3.31
	松本欣二	"（事務取扱）	1976. 4. 1 ~ 1976. 4.30
	井本文夫	"	1976. 5. 1 ~ 1980. 3.31
	大月卓郎	"	1980. 4. 1 ~ 1983. 6.30
	藤田郁夫	"	1983. 7. 1 ~ 1987. 6.30
	大山襄	"	1987. 7. 1 ~ 1989. 6.30
	藤田郁夫	"	1989. 7. 1 ~ 1991. 6.30
	清水孝仁	"	1991. 7. 1 ~ 1995. 6.30
	石井仁	"	1995. 7. 1 ~ 1997. 6.30
	渥美邦夫	"	1997. 7. 1 ~ 1999. 3.31
	岡村静致	"	1999. 4. 1 ~ 2001. 3.31
	鎌田哲宏	情報学部	2001. 4. 1 ~ 2003. 3.31
	市川朗享	工学部	2003. 4. 1 ~ 2004. 3.31
	野飼享	"	2004. 4. 1 ~ 2005. 3.31
	雨中宮正彦	情報学部	2005. 4. 1 ~ 2009. 3.31
	中島伸治	工学部	2009. 4. 1 ~ 2011. 3.31
	高松良幸	情報学部	2011. 4. 1 ~ 2013. 3.31
	梅本宏信	工学研究科	2013. 4. 1 ~ 2015. 3.31
	高松良幸	情報学領域	2015. 4. 1 ~ 2019. 3.31
	河本映樹	工学領域	2019. 4. 1 ~ 2021. 3.31
	許大山	情報学領域	2021. 4. 1 ~ 2023. 3.31
	大岩孝彰	工学領域	2023. 4. 1 ~

図書館概要雑感

附属図書館浜松分館長

大岩 孝彰



附属図書館浜松分館が2018年にリニューアルオープンして5年が経過し、正門から入って左側に見える瀟洒な建物もすっかり見慣れたものになりました。このS-Portと呼ばれる建物は工学部事務棟と浜松分館が一体化したのですが、改修前は別々の建物でどちらも大層地味な建物でした。変わらないのはキャンパスの中でまったく同じ場所に立っていることぐらいで、その存在感は他の新しい建物の中でも抜きん出ています。図書館はすべての学生と教職員が利用するものですので、キャンパスの中の誰からもアクセスし易いというのは非常に重要です。浜松分館はキャンパスのメインストリートに面し、各学部・学科の講義室や研究室からも遠くなく、かつ正門に近くて登下校時に立ち寄りやすいという点で立地に優れていると言えるでしょう。

本稿を書くにあたり図書館概要のデータに目を通しましたので、少し紹介したいと思います。まず図書館の蔵書数は本館・分館併せて120万冊あります。イメージが湧かないかもしれませんが、静岡大学の学生定員は学部と大学院合わせて約1万人ですから、学生一人あたりにすると120冊という計算になります。全学生が分担して1日に1冊読むとしても120日も掛かり、如何に膨大かが分かります。

また図書館に使われる経費は年間およそ2億5千万円に達します。上記と同様に学生一人あたりに換算すると年間2万5千円となり、学部4年間で約10万円という予算が一人の学生のために費やされています。つまり、4年間ほとんど図書館を利用しなかった人は、上記のお金をそっくり無駄にしていることになり、積極的に図書館を利用しない理由はまったくありません。さらに図書館では電子ジャーナル以外の図書を2,500万円分も毎年購入し続けています。本の一冊あたりの価格は様々ですが、1冊平均2,500円ほどとしても、約1万冊の様々な本が毎年増え続けていることになり、利用者の皆さんが満足する図書がきっと見つかるかと確信します。

さらに各年度の入館者数はコロナ禍で著しい減少を示しています。特に4年前は7割も落ち込みましたが、その後徐々に回復し、本年度からは行動制限がほぼ解除されましたのでより一層の利用者増が期待できます。また冒頭に記したリニューアルの後に浜松分館の利用者が急激に増え、本館と分館の利用比率が逆転していることもとても興味深いデータです。

以上、思いつくままに雑感を述べてきましたが、概要データから、あるいは図書館を利用された際に図書館の活性化に繋がるアイデアやニーズなどがあれば積極的にお寄せ頂ければと思います。